

平成 29 年 11 月吉日

## 平成 29 年度 大田区立熊谷恒子記念館 かなの美展 「恒子かく」の開催について

### ■ 展覧会概要

昭和期に活躍したかな書家・熊谷恒子（1893～1986）は、明治 26 年に京都に生まれました。書家として遅咲きであった恒子は、大正 3 年、21 歳で夫・熊谷幸四郎の勤務に伴い東京へ移住したため、書道家としての人生のほとんどを東京・南馬込にある自邸（現・大田区立熊谷恒子記念館）で過ごしました。自邸に残されている多くの貴重資料から、恒子の書家としての活躍を知ることができます。

恒子は昭和 8 年に《土佐日記》で、当時かな書の最高賞であった泰東書道院展東日・大毎賞を受賞し、書道家としての道を歩み始めました。東京国立博物館による作品の買い上げ、書壇の最前線で活躍する書家達と共に、海外を巡回する展示への出品、書道団体・堅香子会の主催、書道家として最大の名誉である皇室（現・皇后陛下）への書のご進講、勲四等宝冠章の受章等、恒子は、一流の書家として様々な名誉を手に入れました。

本展では、熊谷恒子の 50 年に渡る軌跡を書作品とともに写真パネルなどで振り返ります。展示作品は、《土佐日記》、臨書《関戸本古今集》など、約 20 点です。恒子の師・岡山高蔭筆《とぶかりの》手島右卿筆《終古一天平》などの恒子と縁の深い書家の書も展示します。また、同期間内にギャラリートークを開催予定です。

### ■ 会期

平成 29 年 12 月 22 日（金）から平成 30 年 4 月 15 日（日）まで

開館時間：9：00～16：30（入館は 16：00 まで）

休館：月曜休館（1 月 8 日（月・祝）と 2 月 12 日（月・祝）は開館し、その翌日に休館します）

入館料：大人 100 円、小人 50 円 ※65 歳以上（要証明）と 6 歳未満は無料

### ■ 会場

大田区立熊谷恒子記念館 大田区南馬込 4-5-15（交通案内は 3 ページをご覧ください。）

### ■ 関連イベント

#### ○ ギャラリートーク

当館学芸員が本展出品作品を解説します。事前申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

1 月 21 日（日）、2 月 18 日（日）、3 月 18 日（日）、4 月 14 日（土）ともに 13:00 から（30 分程度）

#### ○ 平成 29 年度第四回記念館講座「かなの品格 - 熊谷恒子の書 -」

かな書家・熊谷恒子の書や手本として好んだ古筆、臨書等を画像で紹介しながら、恒子の書にみる品格とは何かを考察していきます。

講師：大田区立熊谷恒子記念館学芸員 荻野祐子

日時：平成 30 年 3 月 17 日（土）

14:00～15:30

参加費：無料（事前申込制※申込多数の場合は抽選）

会場：大田文化の森 第3・4集会室

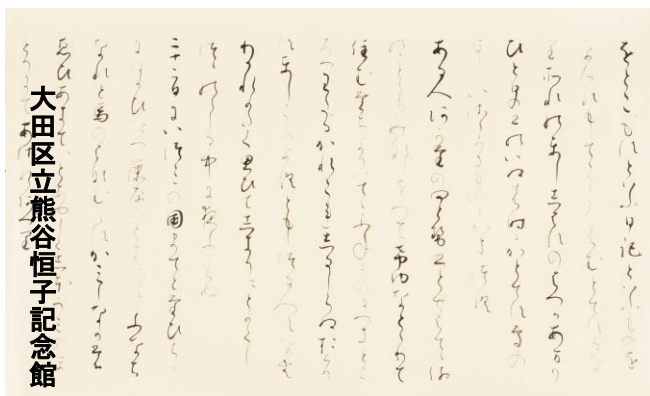
申込方法 締切：平成30年3月5日（月）必着

『往復はがき』、または『FAX』お申込みください。「第4回記念館講座」と明記し、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話・FAX番号、希望人数を（1応募2名まで）をご記入の上、下記までお送りください。

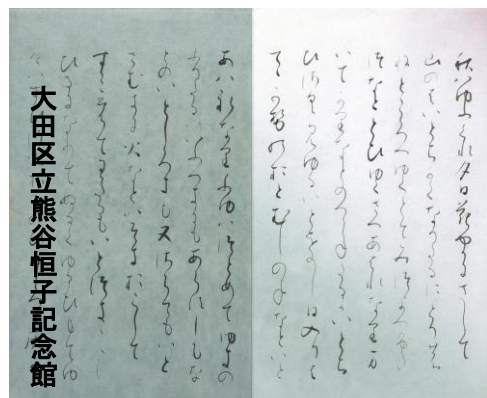
※1通につき2名様まで可、参加者氏名に2名分のお名前を明記ください。なお、返信用のはがきには、代表の方の住所と氏名をご記入ください。

※FAXでご応募の方は、返信用のFAX番号を必ずご記入ください。

## ■主な出品作品



《土佐日記(初巻)》 (1933年)



《秋はゆふぐれ(清少納言『枕草子』)》(1934)

## ■広報についてのお問合せ

本展をご紹介いただける場合にかぎり、作品画像をご利用いただけます。作品画像の使用に関しては、下記までお問い合わせください。

※作品画像のほか当館の外観の画像もご用意しております。

※使用に際しては、掲載内容・放映内容を事前に確認させていただきます。

※使用后、掲載誌および放映が記録されたメディアを見本として当館までご送付ください。

### <お問合せ先>

大田区立熊谷恒子記念館 担当学芸員 荻野 祐子  
〒143-0025 東京都大田区南馬込 4-5-15 TEL&FAX 03-3773-0123

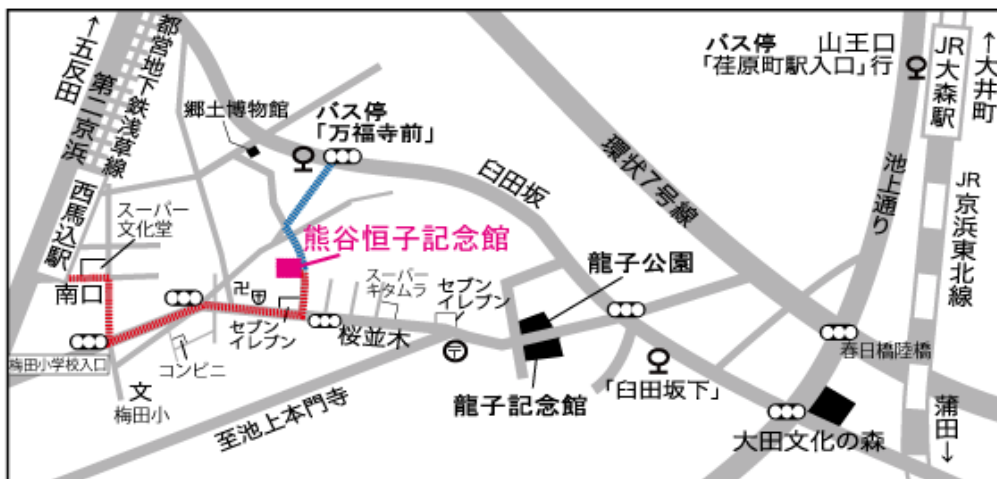
## ■交通

○JR京浜東北線 大森駅北口（山王方面）から

東急バス4番「荏原町駅入口」行乗車「万福寺前」下車、徒歩5分

○都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から

徒歩10分



## ■次回展予告

タイトル：「やまとうたの風趣」（仮称）

会期：2018年4月28日（土）～8月26日（日）（予定）

※会期等は都合により変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。